

まどか 通信



社会福祉法人 まどか
〒720 - 0032 福山市三吉町南一丁目7番9号
☎ 084 - 928 - 1643 (Fax 兼用)
E-Mail : madoca1643@nifty.com
<http://madoca1643.style.coocan.jp/>
<http://www.facebook.com/madoca1643/>

令和 6 年 8 月 1 日

第 7 6 号

発行責任者：神谷 和孝
発行：社会福祉法人 まどか
編集責任者：高橋 恒二郎
(2月・5月・8月・11月 発行)



～ 一冊のノート ～

理事長 神谷 和孝

私が以前から分野を問わず世界の発展に貢献した偉人や宗教界、精神界などに名を遺した人の遺した言葉（名言と一括して言います）に、テレビや講演などで接するとそれをノートに書き留めることにしていて、そのことを始めて随分と年月が流れ、名言もノートに一杯になってきました。

私は精神的に何か落ち着かなかったり、精神にショックを受けた時は、そのノートを一ページずつはぐって、名言を読んでいくと次第に気持ちが安定してくるんです。

明言はどれも短い（時には漢字で四～五文字）ですが、その一つひとつが持っている内容は広く深いものです。明言を読んでいると、今の自分と過去の自分の人生や生き方と知らない間に対比されているんです。

「貴方の一番大切にしているものは」と尋ねられたら、私はこの名言の詰まったノート」と答えることにしています。私はこのノートにまだ名前をつけていないので、近いうちに命名したいと思っています。

このノートに記された名言の中でも、私が特に大切にしているのは禅宗の僧侶が遺した言葉で、禅語と言われているものです。禅語の殆どは数文字の漢字で書かれており、解説には苦労しますが、解釈文を読んだり、辞書を開いたりして、その短い文章の中から、人生の歩みを教えられ感動を与えてくれます。

最近で、最も感銘を受けた禅語に「老鶴万里心」（年老いた鶴がこれから万里の先の地まで渡っていく計画を立てている）というものがあります。

人もいくつになってもチャレンジする心を忘れずにいたい、という内容です。

85歳の私にとっては大変に励ましになる言葉でした。老人にもがんばる（将来への希望や計画）を持たなくてはということ、この文を読んでもくださる方は私よりも年下の方でしょうから、これからの人生を歩み続けるためにもこの「老鶴万里心」という言葉を胸中にしまっただけならばと願っています。

おぼっぴき すみれ工房



今夏は例年以上に厳し

い暑さが続いていますね。🌊 加えて
昨年の夏と同様に新型コロナウイルス感染症の患者数
も市内で増加しています。熱中症などの暑さ
対策もですが、感染対策にも注意していきま
しょう。すみれ工房でも、利用される方が安心
して活動できるよう取り組んでいます！

Facebook では毎月の様子と
詳細もお知らせしていますので
巻末のQR からご確認ください。

空き状況（8月1日現在）

移行支援

・・・若干名

継続支援B型

・・・要相談

前号でも少しお知らせしていましたが、4月から大変多くの方が見学に來られており、新しくすみれ工房と一緒に活動していく仲間も増えました。

何気に72号（令和5年8月発行）以来してなかったなあー、というわけで今回は利用者さんの自己紹介コーナーです。

★利用者さん紹介★

☆ 藤井 太郎 さん ☆

趣味：カラオケ、スポーツ観戦、サイクリング

特技：人の名前を覚えること

好きな食べ物：カレー、ラーメン、うどん、アイス

嫌いな食べ物：わかめ、骨付き魚

頑張っていきたい作業：コバック、田中細巾、徳永製菓

挑戦していることや挑戦してみたいこと：徳永製菓の作業

意気込みをどうぞ！！

**僕は手は不器用ですが、人一倍努力しています。
母が他界したので、仕事をしっかり頑張りたいです。**



☆ N さん ☆

趣味：読書 特技：集中すること

好きな食べ物：ナポリタン 嫌いな食べ物：唐辛子

頑張っていきたい作業：徳永製菓の内職

挑戦していることや挑戦してみたいこと：週5日、外出すること

意気込みをどうぞ！！

**作業を通して、人との関わり方や生産性向上の方法、
体調管理の仕方を学んでいきたい。**



☆ Y・S さん ☆

趣味： サウナ 特技： 我慢

好きな食べ物： カツ丼 嫌いな食べ物： ニンジン

頑張っていきたい作業： 工程が長いもの

挑戦していることや挑戦してみたいこと： 断捨離



働く人を
応援する

『就労定着支援』ってどんなサービス？



すみれ工房では『就労定着支援サービス』の提供も行っています。

『就労定着支援』は「就労移行支援」など福祉サービスの利用を経て、企業での就労に移行して6か月後から利用することができ、働きはじめたことで変わった生活環境や職場での課題など、働き続けていくための支援を最長で3年間受けることができるサービスです。

今回、このサービスを利用している方にインタビューをさせていただきました！

Q. 『就労定着支援サービス』を利用するきっかけを教えてください。



就職当初より同僚との関わりの中で悩みがありました。入社半年後も不安があったため、すみれ工房の定着支援を使わせて頂くことになりました。

Q. 『就労定着支援サービス』をどのように利用されていますか？



月に1回の面談や近況報告を兼ねた電話相談をさせてもらっています。

Q. 面談や電話では、どんなことを相談されていますか？



職場の事だけではなく、私生活や金銭管理についても相談に乗ってもらっています。

Q. 『定着支援サービス』を利用されてみて、いかがですか？



仕事内容や同僚のことを把握してもらえているので、スムーズに相談できるので安心感があります。同僚との関係が気になって引きずってしまうこともありましたが、支援員さんの意見を聞いて客観的に捉えられるようになり、前向きに慣れたように感じます。



とまり木通信

新型コロナ感染症及び熱中症 のへの注意喚起

連日30℃超えの気温に加え、福山市では8月になりコロナウィルス感染者数が増えてきました。

【とまり木】では利用者ミーティングにおいて、感染症に対する以下の対策を実施する旨を呼び掛けております。

利用者、御家族、関係者 様にはご協力をお願いします。

1. 感染予防対策の強化

マスクの着用、手洗い・消毒の徹底の呼びかけ。
ソーシャルディスタンスの確保を引き続き行っております。

2. 健康チェックの実施:

毎日の体温測定と健康状態の報告をお願いしております。

また、今年の夏は気温が35℃を超える日が続いており、熱中症対策も重要です。そのため、以下の対策を実施しております。

1. 水分補給の推奨

定期的な水分補給を呼びかけております。

2. 涼しい環境の確保

エアコンの適切な使用と、涼しい場所での休憩を推奨しております。

3. 適切な服装の推奨

軽装での勤務を推奨し、熱中症のリスクを減らすよう努めております。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。(施設長)

新規スタッフ紹介

還暦を過ぎた新人(?)です。
わからないことばかりで、皆様にご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、よろしくをお願いします。



日山 誠

BBQ



6月8日、芦田川大橋西詰河川敷でバーベキューを実施しました。

当日は天候にも恵まれて絶好の BBQ 日和でした。
新型コロナウイルスによる行事自粛以後、法人の事業所全体での行事は本当に少なくなっていますが、この BBQ を楽しみにしている方は少なくありません。

延べ 32 名の利用者と職員で楽しいひと時を過ごしました。



読者のみなさんへ

バラ会副会長 岡田幸夫

バラ会は精神に疾患を持つ人の家族会です。

私がバラ会にご縁があったのは12年以上前になります。

福山市健康推進課の主催で『統合失調症について』という題で講習会があり、講師は水永病院の院長さんでした。

その講習会の後、座談会でバラ会の方によるご紹介がありました。しかし、私はまだ現職の頃であり、入会まで至りませんでした。そして、再度のご縁があり入会しました。本格的な活動は3、4年前だったのかもしれませんが。

今回執筆の依頼をいただき、まずは最近耳にした「感動の秘話」を紹介させていただきます。

<思わず感動する秘話>

朝ラジオ番組を聴いていると、感動する【絵本のはなし】がありました

バスに白い杖をついて乗る山崎さんはいつも同じバス停で同じ時間にバスに乗ります。

ある時から小さな手がそっと白い杖をついた山崎さんの手を支えてくれて「どうぞ」と言ってバスに乗るのを支えてくれます。

その次の日もそしてその次の日も、、、

そして何年かした時、その手は変わりまた暖かい小さな手が「どうぞ」と支えてくれるようになりました。この手の人は言いました。「姉は中学生になりました。」だからバス停が変わりました。

「今度は私がバスに乗るのを支えます。」そして何年かしたらまた、「私は姉に変わりました。3女の舞です！」と言って、バスに乗るのを支えてくれました。ある時、3女の舞さんの手は代わりました、男の子の手でした。「舞さんの友達の(けいた)です！」とその手は言いました。そして、、、いつしか、山崎さんは定年になって、バスに乗らなくなりました。定年迄10年以上その親切な手のリレーが続きました。山崎さんは感謝でいっぱい定年を迎えました。

山崎さんは40歳すぎた頃、重い緑内障になり、失明してしまったのです。しか

し、気丈な山崎さんは不自由な目でも働ける、自動車に乗らなくても通勤できる、職場を探したのです。最初は家族の助けで通っていました。しかし、いつしか家族も都合が悪くなりました。だから気丈な山崎さんは1人で白い杖をついてバスに乗って職場に通っていたのです。それは、かわいい女子の可愛い親切から始まった『親切のリレー』でした！

(咲き)さんという女子から始まって次女、そして三女、そして友達の男の子とバス停の親切のリレーは続いて、山崎さんは定年迄務める事ができたのです。

こんな話を広島県福山市のローカルFM ラジオから聴く事ができました。私は、いつもは NHK の番組を聴くのだけれど、体調が悪く頭痛がするのでアップテンポの音楽をFMで聴いていたら、【今月の障がい者週間】と併せて流れてきた絵本の朗読の番組でした。頭痛をすっかり忘れて毎週火曜日の9時から始まるリハビリ体操に行く事ができました！

～2024年度 第1回家族会交流会のご案内～

福山市精神保健福祉家族会（バラ会）は、昭和44（1969）年10月に設立され、昭和63（1988）年6月に「すみれ工房」（今津町）を立ち上げ、平成16（2004）年4月に三吉町に移設するまで、松永の地において家族会活動を運営してまいりました。その後、三吉町において社会福祉法人「まどか」を立ち上げ、作業所の利用者と共に「ふれあい喫茶」を運営したり、地域の祭やフリーマーケットなど様々な行事に参加したりして地域との交流にも努めて参りました。

その間、行政に対して、地域保健福祉の社会資源不足を訴えるなどして福山市の保健福祉向上に向けて啓発活動を継続して参りました。

いずれ私たち家族は、当事者を残していかなければなりません。その間際になって慌てるのではなく、私たち家族が元気である間に関係者が手をつなぎ、不安を解消できる社会に向けて共に一歩を踏み出していきませんか。

この度は、普段思っていることや困りごとなど気軽に話し合い、今後に繋げる交流会にしたいと思っています。

○日時：8月24日(土)13:30～15:30

○場所：福山すこやかセンター2階 マンパワー視聴覚室
福山市三吉南二丁目22号

○問い合わせ先：070-9143-5903（田和）

～「善意」のお知らせ～

今期も「法人まどか」および「すみれ工房・とまり木」、そして「福山市精神保健福祉家族会（バラ会）」に多くの皆様よりご厚志・物品提供および作業支援をいただき、誠にありがとうございました。（順不同・敬称略）

★ 法人まどかへの善意

・岡田美枝・高橋恵子

★ 法人まどかへのボランティア

・岡田美枝・國貞将志・村田紀美子・精神保健福祉ボランティアグループ「そよかぜ」

★ 福山市精神保健福祉家族会（バラ会）への善意

※ 匿名でのご寄附も頂いております。ご厚情につきましては記録に万全を期しておりますが、脱漏がございましたら失礼の段、ご容赦いただきますようお願いいたします。

仕事を探しています

こんな仕事は頼める？
どこまでやってもらえるの？
まずは、ご連絡ください！

見学・体験利用

どんな場所か見てみたい…
どんな事をしているの？
気軽にお問い合わせください！

ボランティア

何かできないかな？
一緒に手伝いたい…
ご連絡をお待ちしています♪

今後の予定（令和6年8月以降、令和6年10月まで）

5月下旬～ 10月下旬	福山市医師会看護専門学校精神看護臨地実習 受入
その他、事業所毎に感染症対策をしつつ実施していきます。	

編集後記

暑い日が続いていますね。紙面ではお伝えできませんでしたが、7月16日から19日の4日間にわたって、「チャレンジ・ウィークふくやま」における職場体験学習として、当法人では市内の公立中学校から各事業所に1名ずつ、計2名の受け入れを行いました。大変暑い中での活動でしたが、利用される方が活動しやすくなるための準備や活動中に注意していることなど、職員からの説明を丁寧に聞き、確認して取り組む姿を見させていただきました。後日、学生からの礼状の中で印象に残ったこととして、『利用している方と従業員の方の信頼関係』が綴られていました。信頼関係は快適な環境づくりができる、とも綴られており、支援者として大切なことに改めて気付かされた気がします。（すみれ工房 管理者 高橋恒二郎）

Facebook



HomePage

